

平成14年12月度 大丸営業報告

1. 12月度営業概況

- ・ 前年に比べて土曜日の1日減、雨の日が多かったことに加え、歳暮ギフトの11月度への前倒し、1月のクリアランス前の買い控えなどが大きく影響し、直営9店舗の売上高は、対前年5.3%となった。
- ・ 婦人服・洋品では、特選婦人服はプラスとなったものの、ミセス、ヤングはコート、ジャケットなどの重衣料の動きが鈍く苦戦した。
- ・ 身のまわり品では、アクセサリやハンドバッグはクリスマスギフトなどの動きが良く好調であったものの、婦人靴はブーツの不振が響き前年を下回った。
- ・ 紳士服・洋品で、主力のスーツ、コートなどビジネスウエアが振るわず苦戦した。
- ・ 食品は、歳暮ギフトやおせち料理予約販売の11月度への前倒しなどから、全体の売上は大きくマイナスした。
- ・ 歳暮ギフトは、大きく売上を伸ばした11月度(対前年約20%増)の反動から、12月度は苦戦した。(同9%) 11月-12月の累計では、インターネットギフトが前年比約3倍と大幅に増したことや、ピーコックでの大丸歳暮ギフト品の販売開始などが寄与し、対前年2.2%増と2年振りにプラスとなった。

2. 12月度店舗別売上高対前年増減率(%)

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心斎橋店	0.9	10.1	3.3	2.5	3.4	±0日
梅田店	9.0	12.6	9.2	9.2	7.6	±0日
大阪地区計			5.7	5.2		
東京店	0.3	8.0	1.2	1.1	1.8	±0日
京都店	5.3	4.4	5.2	5.2	1.8	±0日
山科店	2.3	17.6	1.9	1.9		±0日
京都地区計	5.1	4.3	5.0	5.0		
神戸店	4.9	10.1	6.1	6.1	0.3	±0日
新長田店	12.5	2.5	12.2	12.2		±0日
須磨店	9.1	12.1	9.1	9.1		±0日
芦屋店	9.7	8.2	9.6	9.6		±0日
神戸地区計	6.3	10.0	7.0	7.0		
全社合計	4.5	8.0	5.4	5.3	3.2	

前年と比較して土曜日は1日減、日曜・祝日は同日数

入店客数の計は基幹5店舗計

3. 下期累計（9月～12月）店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心齋橋店	1.8	6.0	3.2	3.0	4.7	±0日
梅田店	5.5	7.7	5.7	5.7	4.5	±0日
大阪地区			4.3	4.1		
東京店	1.4	1.7	1.5	1.5	1.5	±0日
京都店	2.4	3.1	2.6	2.6	2.8	±0日
山科店	0.9	9.9	0.7	0.7		±0日
京都地区	2.3	3.0	2.5	2.5		
神戸店	1.7	2.1	1.8	1.8	0.3	±0日
新長田店	9.7	1.6	9.6	9.6		±0日
須磨店	65.1	64.9	65.0	65.0		+61日
芦屋店	59.7	67.3	60.5	60.5		+61日
神戸地区	5.3	1.0	4.6	4.6		
全社合計	0.1	2.7	0.7	0.6		
既存7店	2.4	3.5	2.7	2.6	2.2	

前年と比較して土曜日・日曜日・祝日は同日数

入店客数の計は基幹5店舗計

4. 1 2 月度商品群別全社売上対前年増減率（％）

商品群	1 2 月度	下期累計（9月～12月）	
	9店計	9店計	既存7店計
紳士服・洋品	5.7	1.0	2.2
婦人服・洋品	2.1	1.4	0.7
子供服・洋品	4.7	5.7	3.0
その他の衣料品	1.3	1.9	1.9
衣料品計	2.7	0.9	1.0
身の回り品	7.1	8.1	8.3
家具	25.6	21.1	21.1
家電	11.6	2.7	2.7
その他の家庭用品	6.8	4.1	6.5
家庭用品計	11.2	8.6	10.2
食料品	7.6	3.0	1.2
食堂・喫茶	6.6	2.7	5.2
雑貨	4.9	2.8	1.9
サービス	17.0	19.7	2.8
その他	27.0	18.4	18.7
合計	5.3	0.6	2.6

前年11月のダイマル2店（須磨店、芦屋店）の大丸への統合から1巡したため、既存7店の単月度の売上は記載しておりません。

お問い合わせ先

株式会社大丸 本社広報室

TEL (06) 6281-9002

FAX (06) 6245-1343

以上